桑原 教彰 教授

お問合せ先
corc@kit.ac.jp
産学公連携推進センター

遠隔介護支援サービスポータルの研究開発
在宅の認知症、記憶障害の方の生活を遠隔から支援

■キーワード
高齢者認知症　記憶障害　インターネット　テレビ電話　回想法　情報通信　メディア

■研究の概要

在宅で介護されている加齢、脳卒中等による記憶障害や認知症の方の日常生活を、情報通信技術、メディア技術を応用して、遠隔から支援することで、家族介護者の負担を軽減するシステムを研究開発しています。

■研究・技術のプロセス／研究事例

記憶障害や認知症の方（以下、被介護者）を実際に介護したことのある、職業介護者や家族介護者に対するグループインタビューなどの結果、被介護者の関心、被介護者の注意をある程度の時間、引き付けるコンテンツや問題行動を防止するために情緒を安定させるコンテンツが視聴できること、被介護者のコミュニケーションの機会を増やすこと、被介護者の日常生活の管理などについての支援への期待が高いことがわかりました。そこで、（株）ATR知能ロボティクス研究所や（独）千葉労災病院などと共同で、被介護者を情緒的に支援する「思い出ビデオシステム」、「遠隔傾聴システム」や、日常生活を支援する「コンテンツ提示によるスケジュール管理システム」などを研究開発し実証評価を行ってきました。

■セールスポイント
開発したシステムを統合した遠隔介護支援サービスサイトの構築を進めています。このサイトの利用、維持、管理などにご興味がございましたらご連絡下さい。